

1. 件名：東通原子力発電所の新規制基準適合性審査に関する面談について

2. 日時：令和元年12月11日（水）13時30分～14時00分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門

小山田安全規制調整官、三井上席安全審査官、中村主任安全審査官、佐藤主任安全審査官、永井主任安全審査官、菅谷技術研究調査官

東北電力 土木建築部 部部長 他7名

5. 要旨

(1) 東北電力から、本年12月6日に開催された第808回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合における、原子力規制委員会からの指摘事項について、本日の提出資料に基づいて、それらの趣旨の確認があった。

(2) 各指摘事項の内容に係る認識を相互で確認した後、原子力規制庁から、東北電力の作成した提出資料の以下の項目等に対して、再度、趣旨を説明した。

- ・ 原子炉建屋基礎地盤の速度層構造について、地震動評価の観点を踏まえ、考え方を示すこと。
- ・ 原子炉建屋基礎地盤の岩盤分類図について、f-1断層、f-2断層および蒲野沢層の分布状況を踏まえ、北東-南西断面も検討すること。
- ・ 地震観測記録の応答スペクトルで、T.P. -282.8m～T.P. -82.8mの周期0.5秒程度に卓越がみえる例がある。また、東側の震源で増幅傾向が大きいようにもみてとれるので、増幅特性の到来方向別の検討について、より詳細に確認すること。
- ・ 敷地内臨時高密度観測は、原子炉建屋近傍に限られているため、調査範囲をより広範囲で実施した検討があれば、それについて説明すること。

(3) 東北電力から、指摘事項に関する趣旨は確認できたこと、また、コメ

ントリストについては修正したリストを次回ヒアリングにて提示する旨の回答があった。

6 . 提出資料

- ・東通原子力発電所 1 号炉 コメントリスト(地震・津波関係):審査会合